人吉市行財政経営指針（概要版）

基本的な考え方

◆限られた資源を最大限に活用し行政・公共サービスを確保する「経営」の視点
◆「行政のあり方を変革」し、「行政・公共サービスの質の向上」と共に「経費削減」に取り組む
◆「めざす姿」と「取組の柱」を軸に、取り組みを段階的に進める

推進期間

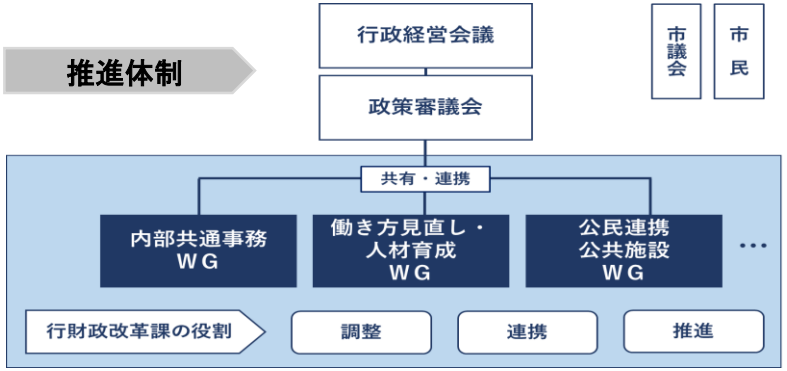
Ｒ６（２０２４）年度～Ｒ９（２０２７）年度
【４年間】

指針の位置付け

第６次人吉市総合計画
～みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし～

- 人吉市スマートシティ推進計画 ～ひとがつながる。未来とつながる。～
- 連携
- 人吉市 行財政経営指針
- 連携
- その他関連計画

推進体制



めざす姿

「限られた多様な地域資源を有効に活かし、利用者起点の良質な行政・公共サービスが、持続可能な形で提供されている人吉市役所」

柱1　利用者起点の行政・公共サービス

◆利用者起点を基本とし、行政・公共サービスの質の向上
◆市民ニーズに合わせたサービス提供で効率性向上・コスト削減を実現
◆取組を効果的に進めるため、デジタル技術や民間活力を活用

柱2　信頼される行財政経営

◆人口減少・変化の激しい社会においても安定的・持続的・効率的・効果的な行政サービスを提供
◆業務効率化・安心して業務を執行できる体制づくり・働きやすい職場環境づくりに取り組む

柱3　持続可能な行財政経営

◆業務のやり方の変革・組織体制などの「仕組み」を変える取組と連動した経費削減の実現
◆公共施設の更新等は、組織内連携・あり方を「量」から「質」へ転換・民間活力の活用で確実に推進

重点的取組

自治体ＤＸの推進

①利用者起点で利便性の高い行政サービスの提供

取組の方向性

◆「行かせない」「待たせない」「迷わせない」「書かせない」窓口の実現
◆行政運営の簡素化や効率化により職員の業務負担軽減

主な取組内容

利用者起点の窓口改革／マイナンバーカードの利用促進／電話問合せの負担軽減／定期的な市民アンケートなどの実施

②職員が職員の担うべき業務に注力できる体制構築のための業務改革

取組の方向性

◆業務プロセスの見直し・デジタルに沿ったやり方に変えることで職員の事務作業からの解放を図る

主な取組内容

押印見直しの徹底／業務プロセスの見直し／ＡＩ等の利用促進による業務効率化の取組

働き方改革と人材育成

取組の方向性

◆柔軟な働き方・働きやすい環境を整え、人手不足の中でも選ばれる市役所を目指す
◆急速なデジタル化や社会変化に対応できる職員の資質・専門性向上等の人材育成に取り組む

主な取組内容

「人吉市人財育成基本方針」の見直し／柔軟な働き方と働きやすい職場環境の推進／定期的な職員アンケートや意見交換の実施／各種職員研修の充実

公共施設マネジメントと公民連携の推進

取組の方向性

◆公共施設等の適正維持・管理・利用者の利便性向上に取り組む
◆公共施設等は機能に着目し適正配置・エリア価値を生み出すまちづくりの視点で再編
◆行政主導の発想を転換、公・民が対等な立場で連携するため、制度や仕組みを整備

主な取組内容

公共施設（ハコモノ）の包括施設管理業務委託の検討と実施／公民連携の推進／利用しやすい交流等の場としての市役所の運用

業務執行体制の強化

取組の方向性

◆職員が安心して効率・有効的に業務を進め、組織本来の目的を達成するため組織内ルールや仕組みを改善
◆条例や規則、非合理で非効率なルールや仕組みを見直し内部事務の合理化に取り組む

主な取組内容

内部共通事務の合理化／各種マニュアルや事務手順書等の充実と整備及び共有